

# 事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別：障がい者・（児）

事業所名（施設名）：ハーモニー虹の郷希望の家

## 第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。  
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態  
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態  
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。</li> <li>■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。</li> <li>■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。</li> <li>■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。</li> <li>■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。</li> <li>■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。</li> </ul>	<p>○精神に障がいを持つ利用者を主とする当施設では、常に利用者の思いや心の変化に寄り添い、利用者の声に根強く耳を傾けている。</p> <p>○併設された地域活動支援センターと連携し、趣味の活動をとおして、生き生きとした生活を支援している。</p> <p>○利用者主体のメンバーミーティングを側面的に支援し、利用者が主体的に就労活動に携われるよう配慮している。</p> <p>○これらについて、個別支援計画やサービス提供記録への記載は少ない。計画的な支援とそれに対する記録が必要と思われる。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	c)	<input checked="" type="checkbox"/> 7 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> 8 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 9 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 10 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 11 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 <input type="checkbox"/> 12 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。	<p>○行政や関係機関が開催する障がい者の権利侵害に関する研修に積極的に参加し、施設内の会議において伝達研修を行い、周知を図っている。</p> <p>○権利侵害を防止するための具体的な事例の収集する仕組み、権利侵害が発生した場合の再発防止のための仕組みなどが施設の中でマニュアル化されていない。職員相互が日常の支援を見つめ直す機会と仕組みの構築が望まれる。</p>
	2 生活支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 13 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 14 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 15 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 16 生活の自己管理ができるように支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 17 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。	<p>○施設内で就労移行事業と就労継続事業を行っているため、日々の就労継続事業に終始することなく、常に一般就労を含めた生活の自立を目指した支援が行われている。また、ハローワークや障がい者就労・生活支援センターなど、利用者の自立に向けた関係機関の利用を積極的に行っている。しかし、これらについて、個別支援計画やサービス提供記録への記載は少ない。計画的な支援とそれに対する記録が必要と思われる。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	b)	■	18 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。	○精神障がいによって日々変化する利用者の声に対して、利用者個々の特性に合わせて思いを聞き取る努力を行い、それらが詳しく記録されている。しかし、これらについて、個別支援計画やサービス提供記録への記載は少ない。計画的な支援とそれに対する記録が必要と思われる。 ○一般就労を目指す利用者に対し、一般就労で必要なコミュニケーション能力の高めるために支援と様々な機会の提供に努めている。
	■			19 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。		
	■			20 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。		
	■			21 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。		
	■			22 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。		
		③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	b)	■	23 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。	○全ての職員は、不安定な利用者の心に寄り添い、日々の就労活動においても利用者の声や意思を慎重に見極めた支援を行っている。これらの過程をマニュアル化することは困難ではあるが、今後、利用者の意思決定に至る過程を示した指針や記録の方法の確立が必要になるとと思われる。今後の研究に期待したい。
	■			24 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。		
	■			25 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。		
	■			26 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。		
	■			27 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。		

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 28 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動（支援・メニュー等）の多様化をはかっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 29 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 30 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 31 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 32 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 33 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。	○併設された地域活動支援センターと緊密に連携し、就労支援に留まらず、利用者の意向に添った様々なスポーツや文化活動のメニューを個別の支援に反映させている。また、地域に活動にも利用者が積極的に参加できるよう施設外の活動に同行支援を行い、生活の楽しみと社会性の向上に努めている。しかし、これらについて、個別支援計画やサービス提供記録への記載は少ない。計画的な支援とそれに対する記録が必要と思われる。
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 34 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 35 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 36 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 37 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 38 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。	○就労事業や精神に障がいを持つ利用者への支援についての研修会に積極的に参加し、専門知識の習得に努めている。しかし、ジョブコーチや精神保健福祉士などの資格取得についての計画がない。専門知識の更なる向上を目指して、施設を上げて資格取得の意欲を高めることが望まれる。 ○利用者の日々の記録が不十分。加えて詳しい支援方法を記したマニュアルも充分とは言えない。専門知識と日々の記録に裏付けされ、支援方法の確立に向けた支援マニュアルの整備が早急に必要と思われる。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	b)	<input type="checkbox"/> 39 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。 <input type="checkbox"/> 40 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 41 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 42 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。	○基本的な施設サービスとしての食事の提供、入浴・排泄等の支援は行っていないが、隣接する地域活動支援センターと連携し、必要な支援を行っている。しかし、これらについての個別支援計画への記載は少なく、曖昧な部分も否定できない。他の社会資源との連携も個別支援計画に記載し、当事業所の支援の一環として利用者の生活の向上に繋がることを期待したい。
		(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 44 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 45 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 46 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるような生活環境の工夫を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 47 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 48 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。	○精神に障がいがある利用者の心身の変化に対応するために、男女それぞれの静養室があり、また、施設長が兼務する。 ○「長野市障害者福祉施設ハーモニー桃の郷」の他事業所からの協力も得やすい状況にあり、当施設の利用者が安心して就労事業に専念できる支援体制が確保されている。しかし、これらについて、個別支援計画やサービス提供記録への記載は少ない。計画的な支援とそれに対する記録が必要と思われる。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 49 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 50 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 51 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 52 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 53 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。	○継続的な施設内就労や一般就労を目指す当施設の利用者の様々な心身の変化や悩みに対して、隣接の地域活動支援センター、地域の「障がい者就労・生活支援センター」等関係機関と緊密に連携をとり、利用時間外の生活や、一般就労後の支援など幅広い支援を行っている。しかし、これらについて、個別支援計画やサービス提供記録への記載は少ない。計画的な支援とそれに対する記録が必要と思われる。
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 54 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 <input type="checkbox"/> 55 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 56 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 57 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 58 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。	○健康面や医療面の支援は、施設長が兼務する「長野市障害者福祉施設ハーモニー桃の郷」の他事業所の看護師等と連携した支援が行われているが、急変時などを想定した利用者の詳しい心身の情報が整理されていない。想定される様々な状況に対応できる支援マニュアル、利用者の情報のデータベース化が早急に必要と思われる。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	c)	<input type="checkbox"/> 59 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 <input type="checkbox"/> 60 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実にやっている。 <input type="checkbox"/> 61 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 62 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法によりやっている。 <input type="checkbox"/> 63 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 <input type="checkbox"/> 64 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。	○通所の就労系施設のため、医療的な管理が困難であることは理解できるが、精神障がい者を持つ利用者にとって、医療との連携、特に服薬管理は、利用者の心身の状況に大きな影響を及ぼすことも明らかである。利用者個々の心身の状況と医療の関わりなどの情報の収集と整理を行い、それに対する個別の支援を明確にした個別のマニュアルの整備が早急に求められる。
	(6) 社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 65 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 66 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 67 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 68 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。	○施設のサービスが就労支援だけでなく、隣接する地域活動支援センターと連携し、地域のスポーツ大会や文化活動にも積極的に参加している。また、就労活動として、屋台での販売活動を行い、利用者の社会性の向上に努めている。しかし、これらについて、個別支援計画やサービス提供記録への記載は少ない。計画的な支援とそれに対する記録が必要と思われる。	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	b)	<p>■ 69 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。</p> <p>■ 70 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。</p> <p>■ 71 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。</p> <p>■ 72 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。</p> <p>■ 73 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。</p>	○通所施設のため、全ての利用者が基本的には地域生活を既に行っている。その中で当事業所が入っている「長野市障害者支援施設ハーモニー桃の郷」内の相談支援事業所と連携をとり、地域生活に支障がないよう側面的に支援を行っている。しかし、これらについて、個別支援計画やサービス提供記録への記載は少ない。計画的な支援とそれに対する記録が必要と思われる。
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	b)	<p>■ 74 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。</p> <p>■ 75 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。</p> <p>■ 76 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。</p> <p>■ 77 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。</p> <p>□ 78 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。</p> <p>■ 79 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。</p>	○隣接の地域活動支援センターと合同の家族会があり、2つの事業所が連携をとって家族との支援を行っている。また、就労移行事業のトライアル雇用の際には、就労先の企業、家族と連絡を密にして、一般就労に向けた支援を行っている。 ○利用者の急変時については、家族への連絡等適切な対応を行っているが、これらを記したマニュアルがない。職員体制などあらゆる状況で素早く確実な対応が出来るよう、支援内容を見直し、明文化することが必要と思われる。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。		<p>80 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援（個別支援）を行っている。</p> <p>81 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動を組み合わせながら実施している。</p> <p>82 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。</p> <p>83 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。</p>	非該当
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	b)	<p>■ 84 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。</p> <p>■ 85 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。</p> <p>■ 86 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。</p> <p>■ 87 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。</p> <p>■ 88 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。</p> <p>■ 89 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。</p>	○就労継続と就労移行を合わせ持つもつ施設であるが、利用者の能力には差があり、勤務時間も利用者個々で大きく違う。また、精神に障がいをもった利用者の心身の状況は日によって差がある。このような状況において、利用者の個々の状況に応じた支援を工夫し、働く可能性と意欲の向上に粘り強く取り組んでいる。しかし、これらについて、個別支援計画やサービス提供記録への記載は少ない。計画的な支援とそれに対する記録が必要と思われる。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	b)	■	90 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。	○就労アセスメントを行い、利用者の就労能力を客観的に評価し、就労能力の向上に努めている。 ○工賃は、施設内の就労時間に比例し支給される部分と、施設外就労については、その種別毎に工賃が定められており、利用者にも分かりやすい支給方法となっている。しかし、それらを分かりやすく記した工賃規定や作業マニュアルはない。今後、利用者がより一層目標を持って就労  作業や工賃アップに携われるよう分かりやすい工賃規定と作業マニュアルの明文化が必要と思われる。
	■			91 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。		
	■			92 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。		
	■			93 賃金(工賃)等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。		
	■			94 賃金(工賃)を引き上げるための取組や工夫を行っている。		
	■			95 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。		
		③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	b)	■	96 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大(職場開拓)に努めている。	○就労アセスメントの結果や日常の施設内就労・施設外就労の様子などから、利用者に合った一般就労を目指して、関係機関(障がい者就業・生活支援センターやハローワーク等)と連携をとり、就労機会の拡大に努めている。また、一般就労後においても就職先の企業や家族の協力を依頼し、定着に努めている。しかし、これらについて、個別支援計画やサービス提供記録への記載は少ない。計画的な支援とそれに対する記録が必要と思われる。
	■			97 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。		
	■			98 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者与企业とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。		
	■			99 就労後の利用者や職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。		
	■			100 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。		
	■			101 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。		